

14 ^{おかう} 大生自然環境保全地域



1 地域指定

- (1) 指定地域 大生神社周辺一帯（潮来町）
- (2) 指 定 昭和52年2月3日（茨城県告示第117号）

2 保全計画の概要

(1) 指定理由

本地域は、北浦に面する西側の台地に位置し、スダジイ、タブノキを主体としたスダジイ・ヤブコウジ群集が見られ、優れた自然環境を形成している。

このため、本地域は、自然環境保全条例第3条第1項第5号の「植物の自生地及び野生動物の生息地」に該当する。

(2) 保全すべき自然環境の特質

本地域は、北浦の西側に面した大生郷の台地にあり、スダジイ、タブノキ、カゴノキ、シラカシ等の天然林が残存し、優れた自然環境を維持しているとともに、当該地域の潜在自然植生を知る上からも極めて貴重なものである。

ア 植 生

地域内の植生は、高木層として、スダジイ、タブノキ、スギ、カゴノキ、シラカシ、ヤマザクラがあり、亜高木層として、タブノキ、スギ、ケヤキがあげられる。

低木層としては、ヒサカキ、アオキ、スダジイ、シラカシ、ガマズミ、アケビ、ネズミモチ、ゴズイ、サカキ等が見られ、草本層として、ヤブコウジ、キッコウハグマ、サルトリイバラ、アキギリ、カシワバハグマ、キンラン、ジャノヒゲ、ヤブマメ、トキリマメ、ヒヨドリバナ、ベニシダ、イタチシダ、マメヅタ等が見られる。

このうち、特にカゴノキについては、茨城県が北限に近く、筑波山、仏頂山、西金砂山、高萩等に生育するが、いずれの産地も個体数は少ない。本地域のカゴノキは、大木に属するもので珍しいものである。

イ 動物

地域内の主な動物としては、蝶類では、アオスジアゲハ、モンキアゲハ、クロアゲハ、カラスアゲハ、オナガアゲハ、ホソバセセリ等、鳥類では、ヒヨドリ、モズ、ムクドリ、キジバト、コジュケイ、ツグミ等があげられる。

このうち、特にモンキアゲハ、ホソバセセリは、特色ある蝶で、モンキアゲハは、本州では本県が太平洋側の生息の北限に近く、ホソバセセリは、本州では北関東から東北地方にはまれである。

(3) 自然環境の保全に関する基本的な事項

地域全域を普通地区とし、そこに生育する植物、野生動物の生息する自然環境を維持する。このため保全に必要な規制は条例の定めにより行う。

(4) 保全施設に関する基本方針

巡視歩道、標識、廃棄物処理施設、植生復元施設、病害虫防除施設、給餌施設、養殖施設等を必要に応じて設ける。

(5) 地区の区域設定に関する計画

本地域の区域は、次のとおりとする。

名 称	位 置	区 域	総 面 積	土地所有別 面 積	摘 要
大 自 然 環 境 保 全 地 域 普 通 地 区	茨 城 県 潮 来 市 行 方 町 大 生 一 部	茨 城 県 行 方 郡 潮 来 町 大 生 一 部	ヘクタール 2.80	ヘクタール 民有地 2.80	スダジイ、タブノキの群落とモンキアゲハの生息

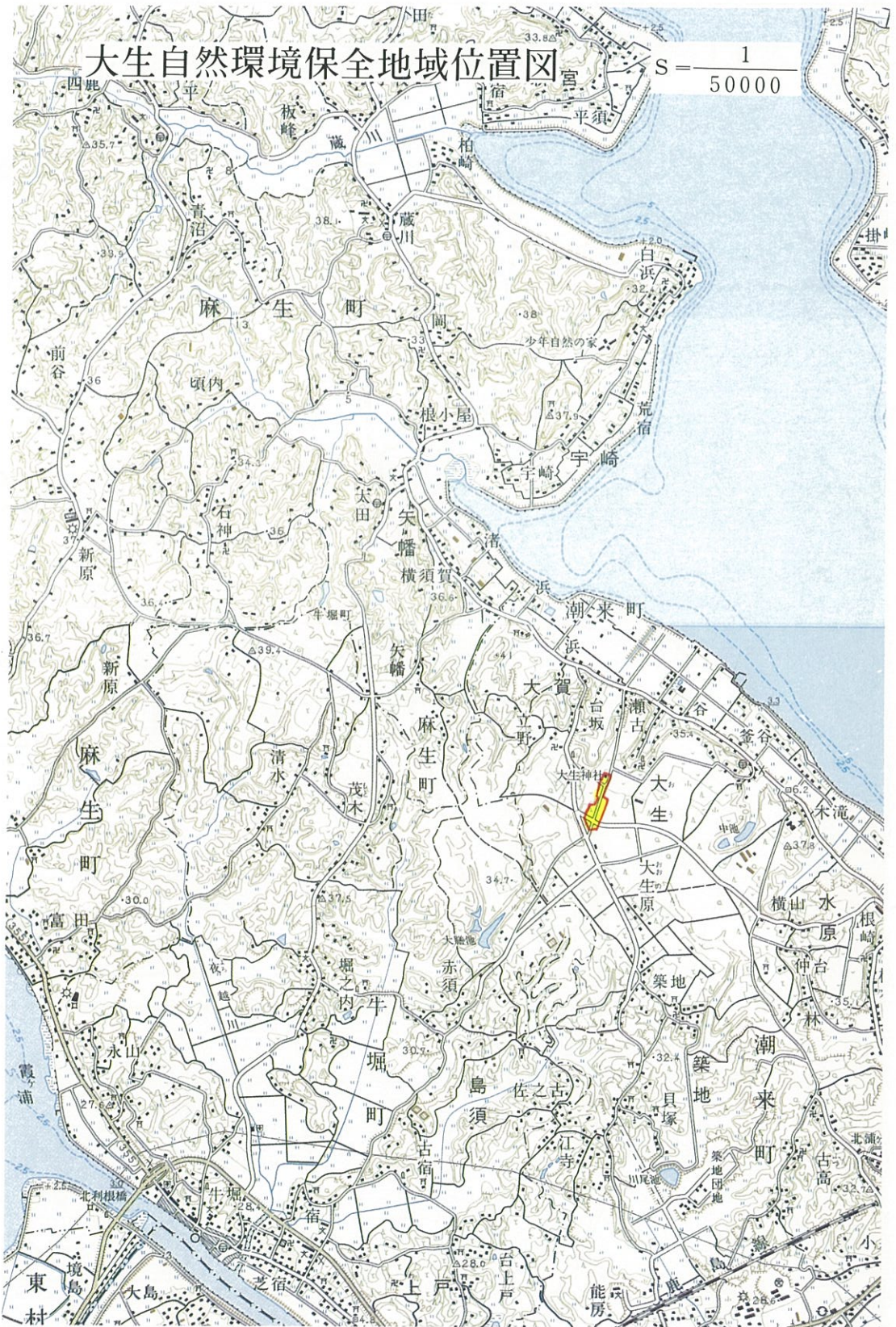
総 括 表

区 分	特 別 地 区									普 通 地 区			合 計		
	野 生 動 植 物 保 護 地 区			そ の 他 の 地 区			小 計			国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地
所 有 別	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地						
所 有 別 面 積 (ヘクタール)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.80	0	0	2.80
地 区 別 面 積 (ヘクタール)	0			0			0			2.80			2.80		
地 区 別 (パーセント)	(0)			(0)			(0)			(100)			(100)		

(面積は図上測定による概算値である。)

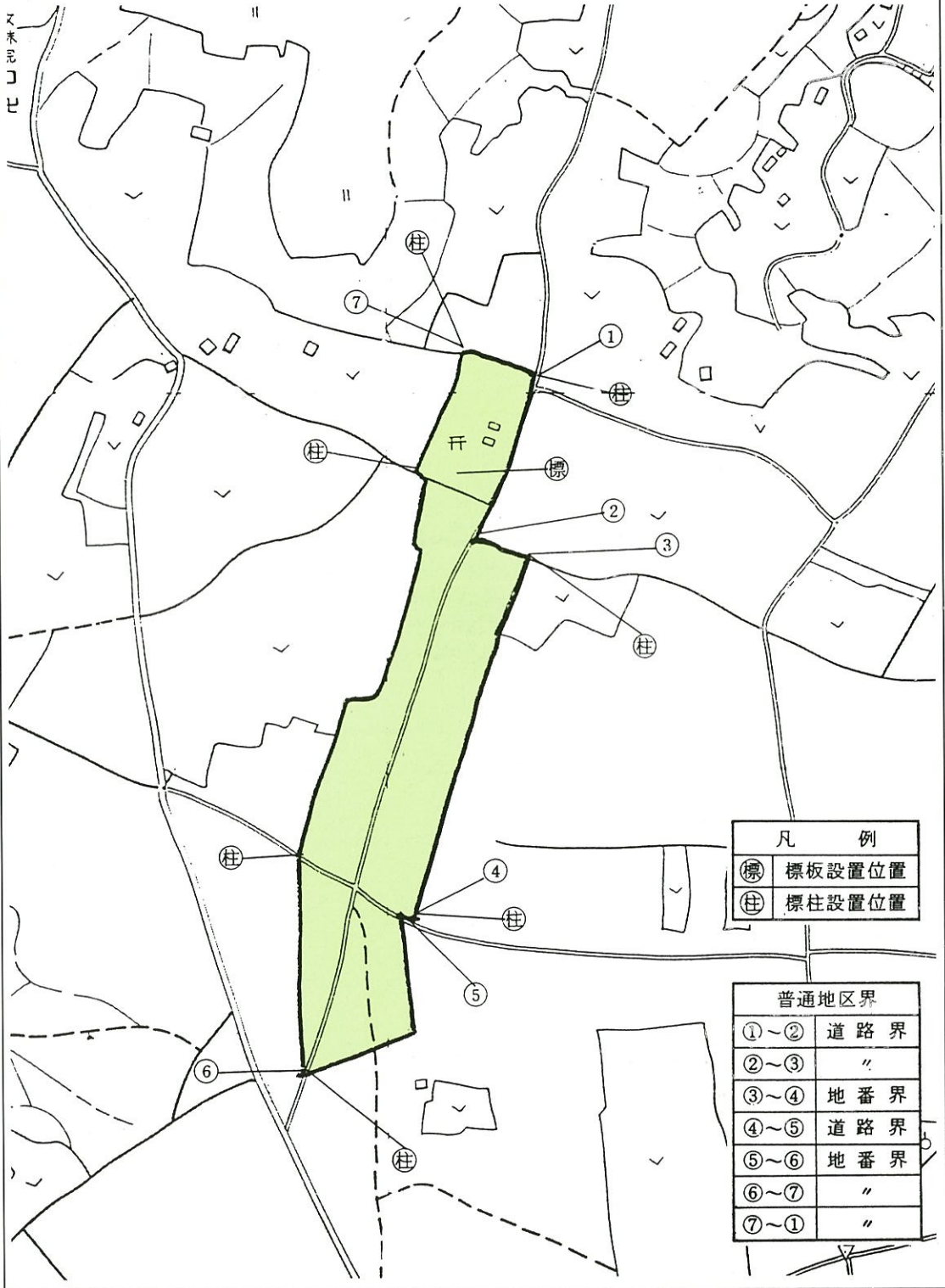
大生自然環境保全地域位置図

$$S = \frac{1}{50000}$$



大生自然環境保全地域区域図

$$S = \frac{1}{5000}$$



凡 例	
標	標板設置位置
柱	標柱設置位置

普通地区界	
①～②	道路界
②～③	"
③～④	地番界
④～⑤	道路界
⑤～⑥	地番界
⑥～⑦	"
⑦～①	"